

児童発達支援ガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 4名回答、回答率 100%

保護者様： 35名回答、回答率 92%

職員の意見

○環境・体制整備。

・個別課題を行うスペース、全体課題を行うスペースで分けており、子どもにわかりやすく構造化された環境を提供することができている。

○業務改善

・法人内で順次受審を行っているが、当事業所ではまだ受審ができていない為、実施を検討する必要がある。教室の環境整備や虐待防止の観点から法人内の他事業所の職員が教室巡回をし、その結果を業務改善に繋げている。

○適切な支援の提供

・ミーティングは欠かさず実施し、その場で全員が意見を出し合い、内容決めを行っている。
・子どもや保護者の意見、職員の意見を取り入れながら支援プログラムを作成、公表している。
・目標を達成した課題に関しては、保護者に報告し、次の目標設定を一緒に行うようにしている。

○関係機関や保護者との連携

・保護者や園からの依頼を受け、必要に応じて園訪問も実施している。
・発達検査を受けた場合、その検査結果を共有してもらい、職員全員が確認し、適切な支援の提供に繋げている。

○保護者への説明責任等

・契約前の個別説明会時、契約時に丁寧に説明を行っている。
・全体フィードバック時に伝えきれない内容については、支援終了後に担当者の方から個別に伝えるようにしている。

○非常時等の対応

・1年間を通して全卒で避難訓練を実施できるよう計画し、実行している。
・毎月、災害の想定を変えて実施するようにし、フィードバック時に保護者にも説明を行っている。
・おやつなどは提供していないが、食物アレルギー、服薬、予防接種、てんかん等に関しては、基本情報シートに記載してもらい、把握している。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

「設備壁紙等、劣化が著しい所があるので補修してほしい」との意見もいただいたが、8割以上の方に現状の設備、生活空間、及び職員の配置数について満足していると回答いただいた。

○適切な支援の提供

「季節のイベントもあり、子どもも楽しめていると思う」「(支援内容については)毎月報告頂けているので、通園している保育園に提出している」「児童の通園している保育園への訪問や意見交換をしてもらい、感謝している」などの意見をいただき、8割以上の方に現状の支援体制について満足しているとの回答をいただいた。一方で、活動プログラムについては、「参加する児童の置かれる状況、特性に合わせるべきものと考えているので、固定化して欲しい面もある」との意見もいただいた。

○保護者への説明等

「参加日のフィードバックは細かいが、日常の様子について聴き取りされたりアンケートなどいただくことはほぼない」という、教室外の様子についての聴き取りを求める意見も頂戴したが、「支援終わりに色々相談できたりフィードバックの時間も頂けている」「毎回、何をしたか丁寧に説明してもらい助かっている」など、支援内容等の説明や、保護者との情報共有について9割以上の方に満足しているとの回答をいただいた。

○非常時等の対応

「事故等に関しては事例がないためわからない」「通所して間もないため回答できない」など、非常時の対応に関する質問では「わからない」との回答もあったため、周知方法については工夫する必要がある。

○満足度

「支援の時間が充分なのか不安になることもある」という意見も頂戴したが、「いつも子どもが楽しく通っている」「先生方が皆さん、素晴らしい」「先生方が子どもにしっかりと向き合ってくれている」「通所を渋ることもあるが、基本的には楽しみに通っている」など、9割の方に、支援について満足しているとの回答をいただいた。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・全体フィードバックの中で、支援の流れやその時の子どもの状況、支援内容の目的を適宜保護者に共有していく。
- ・個別面談実施の周知や掲示方法を検討し、家庭や園での様子について話しをする時間を設けるようにする。
- ・家庭や園の訪問を増やし、家庭や園との連携を深めていく。
- ・ネジの緩みなどの設備の点検や、書類の整備及び、訓練室、事務室の整理整頓を行う。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・全体フィードバックでは、支援の流れや目的、その時の全体の様子を伝えるようにし、個別で伝えなければならない内容については、支援終了後に担当者が個別で伝えるようにしている。
- ・保護者からの要望により、家庭訪問や園訪問も積極的に行ってきた。
- ・月に1回の設備点検を行い、ネジの緩み等を発見次第迅速に対処するようにしている。

アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・その日に実施した支援内容や子どもの様子については細かくフィードバックを行うようにしており、保護者からも丁寧な説明を評価していただいている。
- ・支援の中で気付いたことや保護者からの相談内容についてはすぐに職員間で共有し、次の支援に活かしている。
- ・保護者の要望に応じて、保育園や幼稚園などの関係機関に訪問を実施し、積極的に連携を行っている。

○改善点

- ・支援の様子については細かく共有できているため、それに併せて家庭での様子も積極的にヒアリングしていく。
- ・保護者会等を実施し家族同士の交流の機会や家族への支援の場を設ける。
- ・設備の劣化が著しい箇所があり、補修を希望されているため、教室設備の修繕を検討する。

中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・個別支援計画更新の面談以外においても、子どもの日常の様子(家庭や園での様子)などを共有してもらえる仕組みづくりを行う。
- ・保護者同士が交流を持てる場を設ける。
- ・教室設備の劣化部分の修繕を検討する。

○1年間で取り組む具体策

- ・家族支援や事業所内相談支援を通して直接相談できる場を増やしていく。
- ・年間で2回、保護者参加型のイベントや保護者会を実施し、保護者同士の交流や情報共有の場を設ける。
- ・まだ修繕ができていない待合室の壁紙等の補修を行う。